

## 第 15 分科会「教育条件確立の運動」報告

文責：菅野 喜文（岩見沢市立美園小学校）

今回の分科会では、参加者 4 名、レポーター 1 名という少数での開催となりましたが、それぞれの置かれている環境などを交流したため、十分な時間内で意見交換ができていたと思います。

### ・レポート

「学納金の口座振替にかかわる現状とこれからの考察」 菅野喜文（岩見沢市立美園小学校）

### ・レポートの概要

赴任した学校では、教材費の徴収については集金日を設けて現金を行っていたが、現金事故や集金の効率化を求める観点で口座振替に移行した実践。

移行にあたって中学校区の状況や自校での運用のしやすさ等を考えたうえで、振替方法を検討して、保護者や教職員にはかり口座振替を開始した。開始年度にあらわれた課題を整理し改善をはかり、次年度に集金時期等の変更を行った。

今後は中学校区での完全ができないか探っていく（運用を統一できるところは進めるなど）。

### ・意見交換

自治体による手数料補助の実態や、事務職員の業務上の負担は増えたのか減ったのか、未納者への対策などを質疑をしました。手数料についてはどの金融機関を使っても一回の引き落としあたり一律 10 円ということなので、金融機関によって保護者負担に開きが出ること、また、事務職員の業務としては、現金をほとんど扱わないという点では効率化をはかれているが、事情で口座を登録できない家庭については現金集めにすることが残っているので、その点では多少の負担はある。

### ・その他交流

関連して学校にかかわるお金について保護者負担分の未納の扱いについて学校で取り組むが、事務職員を中心に授業料の取り立てに苦労している実態がある。また、高校は授業料が無償化されてるとはいえ、その書類を保護者が作成するのに手間がかかって事務職員の負担になっていることもある。

そんな中で、未納者を少なくする仕組み（例：児童手当から給食費を徴収する）や制度（例：給食費の無償化）を進めていくことが重要である。

教育条件の分科会で、学校の施設のそのものだけではなく、学校で働く様々な職員の労働環境整備、不登校の子どもが少しでも楽しく学べる環境を作っていけるか、など広い角度からの視点で交流できる分科会であることも大事かと思いました。